

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査 鴻巣市の結果の概要

教科に関する調査から（小学校）

※各教科の問題内容ごとの埼玉県平均正答率と本市平均正答率を比較し、本市平均正答率の方が高い問題内容は成果として示しました。同じく本市平均正答率の方が低い問題内容は課題として示しました。

【小学校4年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較		
	国 語	算 数
鴻巣市	51.5	64.3
埼玉県	51.9	62.6
<p>【国語の成果】「国語辞典に出てくる順に言葉を並べ替える」「登場人物の様子の説明として適切なものを4つの中から選択する」等</p> <p>【国語の課題】「物語の登場人物の言動として、あてはまる言葉を文中から書きぬく」「指示語の示す内容を文中から書き抜く」等</p> <p>【算数の成果】「わり算を用いる場面の文章題を解き、箱の数を求める」「表から、資料の特徴を読み取る」等</p> <p>【算数の課題】「あまりのあるわり算の文章題を解き、あまりを出さないために必要な数を選ぶ」「ある数量の関係を言葉の式で正しく表したものを選ぶ」等</p>		

【小学校5年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較		
	国 語	算 数
鴻巣市	57.6	57.9
埼玉県	56.9	56.9
<p>【国語の成果】「漢字辞典の『絵画さくいん』で調べるときに出てくる順に漢字を並べる」「インタビューの様子を読み、空欄に入る質問を選択する」等</p> <p>【国語の課題】「文の主語と述語を抜き出して入力する」「反対の意味となる言葉を答える」等</p> <p>【算数の成果】「折れ線グラフから読み取ることができる事柄として間違っているものを選ぶ」「長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を示した図に対応する式を選ぶ」等</p> <p>【算数の課題】「レンガでつくった花壇について、レンガの縦に並ぶ個数から全体のレンガの個数を求める」「ある整数より小さい分数をすべて選ぶ」等</p>		

【小学校6年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較		
	国 語	算 数
鴻巣市	56.6	51.5
埼玉県	56.7	50.9
<p>【国語の成果】「文章の構造や内容を理解して、抜けている文を入れる適切な位置を選択する」「辞書の使い方として適切になるように語を選択する」等</p> <p>【国語の課題】「文の主語を抜き出す」「被修飾語を選択する」等</p> <p>【算数の成果】「小数の10倍の数と1/10の数を書く」「合同な三角形をかくことができない条件のものを選ぶ」等</p> <p>【算数の課題】「五角形の5つの角の大きさの和の求め方を説明する」「円グラフにある百分率から数値を求める」等</p>		

教科に関する調査から（中学校）

※各教科の問題内容ごとの埼玉県平均正答率と本市平均正答率を比較し、本市平均正答率の方が高い問題内容は成果として示しました。同じく本市平均正答率の方が低い問題内容は課題として示しました。

【中学校 1 年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較		
	国 語	数 学
鴻巣市	60.2	54.7
埼玉県	59.9	53.5

【国語の成果】「キーワードを説明したもののうち、適切でないものを選択する」「筆者の考えを説明したものとして適切なものを選択する」等

【国語の課題】「文の主語を抜き出す」「同じ意味で使っている動詞を選択する」等

【数学の成果】「正多角形の線対称、点対称を説明した文のうち、適切なものを選ぶ」「拡大図のかき方として適切なものを選ぶ」等

【数学の課題】「あるものの並び方が何通りあるかを選ぶ」「小数の逆数として適切なものを選ぶ」等

【中学校 2 年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較			
	国 語	数 学	英 語
鴻巣市	61.6	48.0	64.1
埼玉県	60.3	48.8	61.9

【国語の成果】「文中にあてはまる適切なことわざの一部を書く」「話題について具体的な例を述べた文にあてはまる言葉をぬき出して入力する」等

【国語の課題】「文中にあてはまる適切な熟語の読みを選択して漢字で入力する」「同じ働きをしている言葉を選択する」等

【数学の成果】「8.5秒以上9.5秒未満の階級の相対度数を選ぶ」「度数分布表から累積度数を求める」等

【数学の課題】「ある場面設定での正しい方程式を選ぶ」「比例式を解く」等

【英語の成果】「与えられた情報に基づいて、人物を説明する英語を書く」「時をたずねる質問に対する答えを選ぶ」等

【英語の課題】「相手の許可を求める表現を選ぶ」「人物の行動を示す表現を選ぶ」等

【中学校 3 年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較			
	国 語	数 学	英 語
鴻巣市	67.9	57.3	54.6
埼玉県	66.4	57.7	54.6

【国語の成果】「適切な書き下し文を選ぶ」「文節の関係が同じものを選択する」等

【国語の課題】「文節の区切り方として適切なものを選択する」「助動詞の用法が同じものを選択する」等

【数学の成果】「単項式（数や文字の乗法だけでつくられた式）の乗除の計算をする」「さいころの目の出方の説明として正しいものを選ぶ」等

【数学の課題】「二元一次方程式の解となる値の組み合わせとして適切なものを選ぶ」「 x の変域から、 y の変域を求める」等

【英語の成果】「正しい語順を選ぶ」「理由を表す表現を選ぶ」等

【英語の課題】「スピーチを聞き取り、内容を表す正しい日本語を選ぶ」「英文が完成するように、（ ）に当てはまる正しい英語（疑問詞）を選ぶ」等

質問紙調査から（一部抜粋）（小・中学校）

* 「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」を選んだ児童生徒の割合（%）

* 1・2の質問項目については、R4県学調より質問の形式が変更され、複数の選択肢から当てはまるものを選択する形（複数回答可）となりました。

* 質問項目は、内容は同じものの、学年に応じて文言が異なる場合があります。ここでは、文言が異なる場合、小学4年生の文言を使用しています。

（例：質問項目6について）小4 相手の顔を見て、はっきり挨拶をすることができますか？
中1 誰に対しても進んで挨拶をすることができますか？

1 あなたが勉強する理由は何ですか。※複数回答

（1）勉強することが楽しい、好きだから

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	37.0	30.1	25.6	23.0	13.3	12.6
県平均値	31.4	24.9	19.9	15.6	11.4	11.3

（2）将来、役に立つから

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	79.1	83.3	83.4	85.0	74.7	74.0
県平均値	75.2	77.4	79.8	77.0	68.9	65.4

【考察】質問項目1（1）については、学年が上がるにつれ肯定的な意見の割合は下がっていますが、全ての学年において、県の割合を上回っています。質問項目1（2）についても同様に、全学年で高い割合を示しております。中1をピークに減少傾向が見られるのは、受験（受検）を意識した学習や抽象度が高まった学習等により、勉強する意義が進学のためへとシフトしていることが考えられます。「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善をさらに推進し、児童生徒にとって生涯学習につながる「学ぶ意義」を更に実感できる学習指導の充実が重要と考えます。

2（前学年の）学級での生活は楽しかったですか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	96.6	93.0	91.4	93.2	95.6	95.3
県平均値	94.8	92.5	91.6	92.4	93.7	92.1

3（前学年の）学級は落ち着いて学習する様子でしたか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	77.3	74.6	65.9	74.9	77.4	79.4
県平均値	77.8	75.3	70.2	71.3	67.8	76.2

【考察】質問項目2は小6で県平均値を下回ったものの、他の学年は県平均を上回っており、学校生活への満足度は高いものと考えます。質問項目3は小4から小6で、県平均値を下回り、中1から中3は県平均値を上回りました。小学校段階での学習規律の徹底が今後の課題です。

4 自分にはよいところがあると思いますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	83.9	76.9	79.6	80.5	77.5	74.5
県平均値	82.5	76.8	78.8	78.2	77.3	75.1

5 将来の夢や目標をもっていますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	92.7	80.8	78.6	79.2	67.3	69.3
県平均値	91.2	82.5	80.5	79.8	69.4	67.0

【考察】質問項目4については、中3で県平均値をやや下回ったものの、他の学年は県平均値を上回っています。今後も、自己肯定感や自尊感情を高める指導を継続的・組織的に進めることが大切であると考えます。質問項目5については小4と中3以外の学年で県平均値を下回っており、小中接続における進路指導・キャリア教育の充実や、小中9年間のつながりを意識した系統的な指導を行うことが重要であると考えます。

6 相手の顔を見て、はっきり挨拶をすることができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	79.2	80.9	81.7	89.0	86.0	88.4
県平均値	75.9	77.6	77.9	84.7	83.0	85.3

7 相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	82.2	89.1	87.3	92.0	91.3	95.1
県平均値	82.7	86.7	84.5	89.6	88.2	93.4

8 進んで掃除をし、自分の担当場所をきれいにすることができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	90.9	90.8	90.1	92.7	89.9	91.8
県平均値	89.5	89.6	87.9	88.0	87.5	89.1

【考察】質問項目6・7・8については、質問項目7の小4を除き、全ての学年で県平均値を上回っています。日頃からの挨拶の励行、道徳教育の充実及び、学校、家庭、地域社会とのつながりの中で、児童生徒に豊かな心が育まれているものと考えます。

9 先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	78.7	82.8	79.0	84.3	82.6	85.9
県平均値	77.7	79.2	76.0	79.4	79.1	82.1

【考察】質問項目9については、全ての学年が県平均値を上回っています。引き続き、学習指導において、相手の考えを適切に受け止め、一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていく「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を充実させることが重要であると考えます。

学力分析データから（小・中学校）

【学力が伸びた児童生徒の割合（％）について】（国語）

	小4→小5	小5→小6	小6→中1	中1→中2	中2→中3
鴻巣市	62.5	39.3	49.1	52.5	63.0
埼玉県	67.0	46.8	54.6	52.9	66.7

【学力が伸びた児童生徒の割合（％）について】（算数・数学）

	小4→小5	小5→小6	小6→中1	中1→中2	中2→中3
鴻巣市	50.8	48.7	50.7	67.6	46.0
埼玉県	56.1	54.8	51.1	73.1	48.1

【学力が伸びた児童生徒の割合（％）について】（英語）

	小4→小5	小5→小6	小6→中1	中1→中2	中2→中3
鴻巣市					70.1
埼玉県					73.9

【考察】「教科に関する調査」に係る「学力が伸びた児童生徒の割合」については、上記のとおり全ての学年、教科において県の割合を下回りました。鴻巣市は、今年度から実施方法をPBTからCBTに切り替えてため、「CBT方式への不慣れ」が結果に影響したことが考えられます。今後は、CBT方式の学力調査においても児童生徒が十分に力を発揮できるように支援するとともに、一人一人の学力を確実に伸ばすため学習指導の工夫・改善が重要であると考えます。